

令和7年度園評価

大垣市立三城こども園

【園の教育目標】

よく考え みんな仲良く 元気な子
～考える子 仲良くする子 元気な子～

【令和6年度の園評価より】

- ・気候や行事を見通し、園外保育や運動遊びを計画的に行えるようにする。
- ・様々な人と関わられるよう、クラス以外の友達や異年齢で関わりができる環境を整える。
- ・災害だけでなく防犯も含め、組織的に対応できるような訓練の実施や共通理解に努め危機管理意識を高める。
- ・早朝、延長保育利用児の保護者とのコミュニケーションを充実させる。

○保育者 ☆関係者 ●課題

観 点	短期目標	4段階評価		評価及び意見の概要
		自己評価	保護者	
支える・幼児教育の強化	防災環境を整えたり、園の実状に応じた避難訓練を実施したりして大災害を想定した備えをしている	2.6	3.8	<p>○毎月の訓練後に、身を守るためにどうするとよいかを子どもと一緒に考える機会をもてた。ダンゴムシポーズや保育者の所へ集まるなど、素早くできるようになった。</p> <p>○様々な状況を想定した訓練を通して、保育者の動きや室内の環境を見直したり話し合ったりして共通理解することができた。</p> <p>☆子どもたち自身にも防犯に関する内容が実践されていて良い。</p> <p>☆訓練等がマンネリ化せず、全職員の危機管理能力の向上及び共通理解に一層努めていってほしい。</p> <p>●基本的な観点や留意点を早期に全職員で共通理解できるよう、専門家からの研修は時期を早めたり、マニュアルの確認を年度当初に行ったりしていきたい。</p> <p>●職員それぞれの立ち位置や様々な視点から意見を出し合い、訓練の経験を次に活かしていきたい。</p> <p>●棚の上に物を置かない、使ったらすぐに片付ける等、日常的に環境整備や動線の確保をしていきたい。</p>
保育・幼児教育の充実	健康な体づくり 【元気な子】 外遊びや運動遊び等様々な活動を楽しみ、丈夫な心身が育つ	3.6	3.9	<p>○年齢や季節に合わせた環境を用意することで、子どもが自分で選択して遊ぶようになった。</p> <p>○日々の遊びや行事に向けての取組の中で、“できるようになりたい”と目的や目標をもって体を動かしたり達成感を味わったりすることができた。また、友達の姿に影響を受けて、やってみようとする姿が見られた。</p> <p>○戸外に出られない時は、リズム遊びやサーキット遊びで体を動かし、継続的に遊ぶことができた。</p> <p>○年間を通して体を動かして遊ぶ中で、体の使い方がしなやかになり、意欲的に遊ぶ姿が見られるようになった。</p> <p>☆子どもは遊びを通して成長するため、今後も、効果のある遊びは継続実施するとともに、季節や人数、個に合わせた計画を毎年見直し実施して欲しい。</p> <p>●2学期は行事がコンスタントに続き、園外保育を取入れる時間の確保が難しかった。計画的に園外保育を取り入れるようにしていきたい。</p>
	社会的発達 【仲良くする子】 他クラスや異年齢の友達、保育者などに親しみをもち、多様な人と関わるのが好きになる	3.1	3.7	<p>○運動会や発表会などの行事を通して無理なく、お互いの姿を見せ合うことができた。刺激を受けて遊びを取り入れたり、憧れの気持ちをもったりする姿があった。</p> <p>○保育者自身が、積極的に他クラスや他学年の保育者とコミュニケーションをとる時間を作ることができた。</p> <p>○戸外遊びや異年齢交流を通して、担任以外の保育者と接する機会を作ることができた。</p> <p>○低年齢児においても、思いを表情や仕草で伝えたり、描画や音楽などの表現活動を楽しんだりするようになった。</p> <p>☆年長児に憧れをいだき、自然な成長が促されるよう、引き続き異年齢での取り組みを計画的に進めていってほしい。</p> <p>●異年齢交流が行事的な位置付けではなく、日常的、継続的な関わりになるようにしていきたい。</p> <p>●同じ時間帯に意図的に園庭へ出るようにする等、縦割りと一緒に遊ぶ場や関わる場を設けていきたい。</p>
	精神的発達 【考える子】 自分の興味ある遊びをする中で、試したり、工夫したり、考えや思いを表現したりする	3.5	3.7	<p>○子どもが自由に選んで遊べる環境を用意することで、意欲的に遊びに取り組む姿が見られた。</p> <p>○遊びを継続できるよう時間を確保することで、想像したり試したり工夫したりするようになった。</p> <p>○クラスから学年、異年齢へと関わりが広がるように、時期を考慮して一緒に活動する機会を設けることができた。その中で、友達や異年齢児からヒントや刺激を受け、“やってみよう”と新しい遊びに挑戦する子が増えた。</p> <p>☆保育室、廊下及び園庭に季節を感じるものや植物など感性を育む工夫がされており良い環境である。</p> <p>☆子どもの様子や反応を逃さず捉え、主体性をもって遊ぶことができるよう意図的な実践を行って欲しい。</p> <p>●行事等でじっくり遊ぶ時間や場所を継続的に確保することが難しかった。</p> <p>●室内遊びがマンネリ化しがちであるため、伝承遊び、集団遊びなどを取り入れたり、子どもの成長に合わせて変化させたりしていきたい。</p>
子育て支援の充実	と保護者携地域 園は子どもの育ちや保育・教育活動について積極的に発信し、家庭と子どもの育ちを共有しながら協同的な子育てを行う	3.1	3.7	<p>○学年だよりや参観時に遊びのねらいや具体的な子どもの姿を伝えておき、参観時に一緒に遊ぶことで更に理解が深まった。</p> <p>○子どもの発達や興味関心に合った保育の意図やねらいが適切に伝わるように工夫することで、保護者の子ども理解が深まった。また、保護者からアドバイスを求められたり、家庭で取り組めることを伝えることで、家庭で実践していただける方が増えた。</p> <p>○懇談や送迎時に、園での具体的なエピソードや姿を伝えることで子どもの育ちを共通理解することができた。</p> <p>○テラス側に絵画や作品を展示することで、保護者に観てもらえる機会が増え、保護者が子どもの成長を感じたり、親子で会話したりする姿が見られた。</p> <p>○子育てや育ちについて保護者の話や悩みを丁寧に聞き、話しやすく相談しやすい関係作りに努めた。</p> <p>☆送迎時の保護者との関わりやたより等、園全体や個人の状況の発信は今後も大切にして欲しい。</p> <p>☆今後も、開かれた園の運営のもと地域に根ざした実践を進めていってほしい。</p> <p>●配信を見ない方もあり、掲示と声かけも並行して行っていきたい。</p> <p>●早朝延長保育利用児の保護者と意識的に話をするようにしたが、今後も意図的に機会をもち、育ちを共有できるようにしていきたい。</p>

【次年度の課題】

- ・危機管理においては、様々な状況を想定した訓練の反省が次へと活かされるものとしていく。
- ・気候や行事を見通し、園外保育を計画的に実施していく。
- ・異年齢交流において、行事的な位置付けではなく、日常的、継続的な関わりになるよう計画的に進めていく。
- ・一層、子どもの主体的な遊びが深められるよう、時間的な余裕や継続的な実施ができる環境づくりをしていく。
- ・室内遊びがマンネリ化しないよう、子どもの発達に応じた遊びの環境を提供していけるよう努めていく。
- ・特別な支援を要する子、外国にルーツをもつ子、食物アレルギーをもつ子、医療的ケアを必要とする子等が多く在籍するため、一人一人の多様な育ちや背景に応じた支援体制を整備していく必要がある。